

「挑み続ける佐久市」

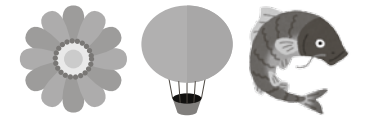
「大きな可能性」を実現するために

柳田清二

目次

①国民健康保険の現状……………	2	⑪安心を求めて「人は動く」……………	24
②「みはらしの湯」の経過……………	5	⑫アジアにおける佐久市の役割……………	26
③新しい佐久市営球場……………	8	⑬佐久の水を守る運動を全国展開に……………	28
④佐久市100年の分岐点【新幹線佐久平駅の構造】……………	10	⑭佐久市財政の健全性……………	30
⑤佐久市100年の分岐点【中部横断自動車道】……………	12	⑮シティプロモーションという考え方……………	32
⑥新直轄方式だから行う「道の駅・ヘルシーテラス佐久南」……………	14	⑯その人の大切なものを大切にする……………	34
⑦高い評価 佐久の米・佐久の酒・佐久の鮎……………	16	⑰女性起業家・新規就農 ～佐久市が、皆が活躍できる場であるために～……………	36
⑧軽井沢スキーバス大事故で発揮した“佐久のチカラ”……………	18	⑱成熟した社会を目指して ～未来から今を見る視点～……………	38
⑨長野県立武道館の可能性と期待……………	20	⑲行政は市民のために存在する……………	40
⑩佐久市長就任時に迫られたこと ～公設民営・春日溪谷・岩村田小学校改築～……………	22	⑳感激のある教育現場……………	42

1 国民健康保険の現状



国民健康保険の現状②

国民健康保険の維持には、「他の社会保険との公平性」と「将来をも考えた施策」が大事です。

「佐久市の国民健康保険加入者で、現在最も高額給付は、どのくらいか報告して下さい」

その日のうちに報告を受けました。

1ヶ月約3,000万円…

「ある手術を行われた方です。その方の自己負担額は、3万5,400円です。高額医療費制度がありますので」

日本では、国民皆保険制度において、誰もがこういった医療を受けることができます。

こんなにも命が大切にされる時代は、洋の東西を問わず歴史を顧みてもなかったのではないのでしょうか。私は、今の日本の命を大切に^{かえり}する姿勢を支持します。

しかし一方で、手厚い給付を支える保険制度は、厳しい状況にあることは言うまでもありません。佐久市では、平成28年度から32年度までの5年間の国保財政健全化計画を立て、収入不足見込額を算出しました。その額は、19億4千万円（推計）。そして、平成27年度（実績）を加えると実に22億円の不足となります。そこで緊急的に一般会計から13億1千万円（この金額は、不足額の59%）を繰り入れる計画とし、平成29年度改定の一人当たり国保税の増税を11.1%に^{とど}留めました。この一般会計繰入れをしない場合は、18%の増税となってしまいます。国保加入者は低所

得者や高齢者が多く、すべてを国保加入者負担という判断はしませんでした。

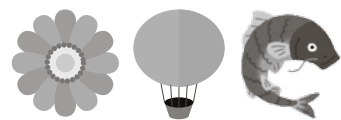
頭が痛いのは、公平性です。

サラリーマンは、社会保険に加入し、独立採算となっています。独立採算はどの保険も原則であり、国保も同様です。ただし国保は、社会保険等から多額の支援金が交付されています（平成27年度：約30億円）。

一般財源は、市民10万人の貴重な財産です。その財産から国保会計に助けの手を差し伸べることは、国保加入者からすれば負担軽減になりますが、サラリーマンからすれば二重・三重の負担となるのです。私は、市長として国保審議会に^{しもん}諮問しながら議論を進め、一般会計からの一部繰^{くり}入れを行い、平成29年度予算編成をしました。

反対する方の意見には、低所得者の生活実態を考えれば増税せず全額一般会計からの繰入れを行うべきというものがあります。その財源には、基金を活用すべきという市民説明会での意見もありました。しかし、もしそのような選択をした時には以下の課題が残されます。

- ①社会保険など他の保険加入者との不公平が拡大する。
- ②佐久市の高齢化率は29.6%（H28. 10. 1）だが、今後さらに加速していく。基金活用をした場合は、将来世代の財産まで使うことになる。



国民健康保険の現状③

一方で、給付と負担のバランスが崩れていることは否めません。その大きな原因は、「人生60年」であった時代の制度を「人生85年」となった今もそのまま使っているという点です。医療保険制度は国民健康保険法をはじめ、多くの法律等により運用されています。このことから、国政の場において新たな時代にマッチした制度改革を行わなくてはならないのです。

将来のための基金を崩し一般会計から国保会計に繰り入れるという考えは、予算制度や財源の確保、また国民皆保険制度や基金の性格、社会的公平性への知識不足が著しいと言わざるを得ないのです。

② 「みはらしの湯」の経過

地域の皆さんの要望と佐久市の観光の魅力づくりとして「みはらしの湯」がつけられました。

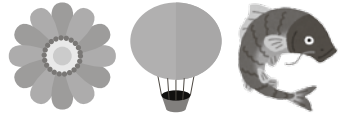
私の市長就任当時は、新たなクリーンセンター候補地は岸野から桜井にかけての位置でした。地域からの反対もあり膠着状態となっていました。

職員との長い協議の末、当該地は断念し、公募を行うこととしました。公募に至った場所は、内山、猿久保、平根。誰もが排出するごみです。その焼却を行うことを受け入れ可能であるかどうかについて真剣に検討頂いた皆様には、今も頭が下がります。それは、公募には至りませんでしたが大沢も同様です。結果、全住民アンケートを行い約80%の同意を整えた平根地区が候補地となったのです。

平根は関係4区。上平尾、下平尾、横根そして紅雲台。「紅雲台」の「紅(くれない)」とは、桃の花の事で、そこから見える平尾山麓の桃園の姿が雲のようであったと元内閣官房長官井出一太郎先生が命名したのです。今も紅雲台の公会場にその額が飾られています。

桃農家の皆さんは、上信越自動車道建設によって多くの農地を失いましたが、地域の発展には高速道路は不可欠であることを十分に認識されていました。丹精込めて育てた優良桃団地は失われ、高速道路や全国で三番目となるハイウェイオアシス、平尾山公園、カブトムシドーム、昆虫体験学習館等が建設され、後にはスマートインターも設置され農村であったその地域は、佐久平の玄関口へと変貌を遂げていったのです。

10年、20年と時は過ぎ、平成26年、新クリーンセンター建設地が平



「みはらしの湯」の経過②

根に決まりました。利用は、佐久市、北佐久郡、南佐久郡の約17万人。期間は30年。クリーンセンターは、迷惑施設ではありません。しかし、その場所を決定することは著しく困難で、全国には20年近くその場所が決定できずに彷徨^{さまよ}っている地域もあります。

この新クリーンセンターを建設する極めて大きな理由は主に以下の2点です。

- ①安価に処理が可能となり経済的。
- ②自前のクリーンセンターを持つことにより、他者に依存せずに処理ができ、極めて安定的。

民間クリーンセンターでの家庭用可燃ごみの1トンあたりの処理費用は、5万円超。これに対し、新クリーンセンターでは3万3千円。1トンあたり1万7千円を超える経済性が生み出されます。

次に安定性です。今、中込中央区にあるクリーンセンターの焼却灰は、山形県の民間企業で処理しています。なぜならば、課題も多く、県内はもちろん、近県でも処理を受け入れてくれる企業がありません。以前は山口県、その前はフジコーポレーションで処理をお願いしていました。

つまり民間に依存するということは、何らかの事情で搬入が出来なくなった場合、次の民間事業者を探さなくてはならないということです。焼却灰処理も廃棄物焼却も同様です。私たちは、30年間の安定性を手にしたのです。

その施設を受け入れた平根地区対策協議会から正式に出された要



「みはらしの湯」の経過③

望は、温浴施設の建設でした。この要望は平根地区の長年にわたる要望でした。市として試算と検討を重ね、受け入れていくことを決めました。

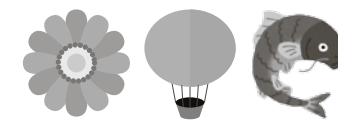
建設費用は、総額18億円。費用負担は、一部事務組合（新クリーンセンターを運営する組織）を構成する佐久市、軽井沢町、立科町、御代田町で行います。佐久市の負担額は、12億6千万円。その財源を佐久市は、合併特例事業債を充当しますので、市民10万人で負担する金額は4億2千万円となります。

以上の説明でご理解頂けるとと思いますが、地域要望である温浴施設の財源を合併特例事業債に求める以上、私たちが辿^{たど}ったこのタイミングでなければ建設出来なかったのです。この時期を失えば、国、県からの補助などあるはずもなく、市民負担は今の3倍が必要となるのです。

説明を加えなくてはならないのは、この温浴施設は、地域要望であると同時に佐久市の観光の目玉である平尾山公園、パラダに加えての魅力づくりだという点です。以上の説明により、市議会全会一致で温浴施設の建設が決定しました。

あの桃団地で作業をしていた人々は、「ここから見る夕陽は他に類を見ないほど美しい」ということを知っていたからこそ胸を張って見晴らしの良い場所に温浴施設建設を求めたのです。

3 新しい佐久市営球場



新しい佐久市営球場②

プレイヤー重視の安全に配慮した球場が29年度に完成します。

平成17年に佐久市は合併し、新市計画を策定し新球場も総合運動公園内に建設することになりました。当初、陸上競技場も野球場も豪華な貴賓室やナイター中継が可能な照明が建設される予定でした。しかし私は、佐久市の身の丈に合った施設とは考えませんでした。言葉を選ばず表現すれば使わないものを造るべきではないと考え、行政手続きを踏みながら規模縮小を検討しました。

一方、クロスカントリーについては、佐久長聖高校駅伝部の目覚ましい活躍もあり、建設価値も高まりました。しかし、現場の意見注入が不足していました。両角監督やアスリートの意見を聞き、足への負担を考慮し、^{だんせいほそう}弾性舗装と短い距離でのゆるいアップダウンとしました。平面交差する原案では走行を中断しなければならないので、ノンストップで走れるよう陸橋とアンダーパスの建設を取り入れました。

さて、野球場ですが、大規模なプロ野球も行えるような球場を求める声もありましたので、調査を行いました。長野県内でのプロ野球1軍の過去10回の試合開催は、9回がオリンピックスタジアムで1回が松本市野球場でした。東信最大の県営上田野球場規模（内野席8,000人 新市営球場の約4倍）であっても開催されていません。よって、プロ1軍を呼ぶことはほぼ不可能。残念ながらこの現実の中では、プロ1軍の試合開催を念頭に置く球場建設は建設すべきではないと判断しました。

高校野球の予選を考えると、決勝戦はやや困難としても、準決勝、ベスト8までの開催ができるキャパシティとなっています。

これらの背景から佐久市営球場は、「見る球場」の色合いよりも「やる球場」という特色を持たせる方向へ定めていきました。ならば、プレイヤーにとって快適度の高い野球場にしようという考え方のもと、以下の特徴を備えました。

- ①内野のクレーパー舗装は、^{あんきょ}暗渠排水を基準の2倍備えていますので、「雨上がり最短でプレー出来る球場」となります。
- ②人工芝でオールシーズン快適にプレーできます。
- ③屋内ブルペンのため、雨天時や冬季の練習場にもなります。

これらの特徴は、競技団体やクラブチームの皆さんに要望をお聞きする中で決定したことです。

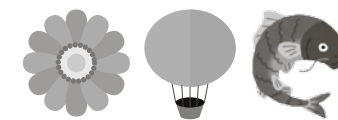
佐久総合運動公園野球場

関係団体からご要望の強かった30mの防球ネットと室内練習場（ブルペン）、電光掲示板を整備します。

- 収容人数／8,350人（内・外野）
- ナイター照明／6基
- グラウンド／内野：黒土
外野：人工芝
- 両翼／99.1m
- センター／122メートル



④佐久市100年の分岐点 【新幹線佐久平駅の構造】



佐久市 100年の分岐点【新幹線佐久平駅の構造】②

佐久平駅の構造は、橋上駅^{きょうじょう}です。

あまり知られていませんが、この橋上駅にすることにより佐久平駅周辺は、類まれな大発展を遂げたのです。

平成3年。鉄建公団から佐久市に示された新幹線新駅は、高原の小さな駅で、小海線接続の新駅は作らず、小海線とのアクセスは、長い長い歩道により岩村田駅を利用するというものでした。

鉄建公団の建設案に加えての設備設置は、すべて提案者によって財政負担するという原則の中で検討が重ねられました。

結果、佐久市は、構造は橋上駅、小海線アクセスは新駅を建設、プラザ佐久を併設させ、60ヘクタールの区画整理事業を実施するという大決断をしたのです。

橋上駅は、文字通り駅【改札】が橋の上にあります。佐久平駅や軽井沢駅が橋上です。それに対し、駅が地上にある駅を地上駅と言い上田駅がそうなのです。

佐久平駅を例にとると蓼科口の方が先行し土地利用が進みましたが、その後、浅間口もマンション、ホテル、商業施設、クリニック等の建設によって土地利用99%となりました。固定資産税にして117倍増となり、地方都市では最も新幹線効果のあった駅と言われています。

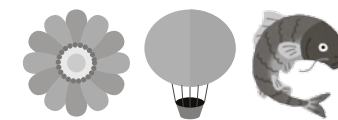
橋上駅は、北口、南口といったように両方の改札口ごとの駅前開発を行えるため、土地利用が2倍となります。軽井沢駅が橋上駅であることによって、アウトレットまで徒歩3分を可能にして

います。これが地上駅であった場合、シーズンによって渋滞激しい軽井沢では、今の発展はあり得なかったのではないのでしょうか。

この決断は、三浦前市長の英断であることは言うまでもありません。加えて、角田邦男助役、木内徳雄収入役をはじめとする佐久市役所理事者から担当職員にいたるまで、一丸となって将来の佐久市の為に真剣な検討を懸命に行ったことにより、正確な判断、100年に一度の分岐点において正しい選択が出来たのだと思います。



発展する佐久平駅周辺



5 佐久市100年の分岐点 【中部横断自動車道】

佐久市 100年の分岐点【中部横断自動車道】②

中部横断自動車道の開通は、佐久の可能性を大きく広がります。

工事は進み、佐久地域では、平成29年度には八千穂高原ICまで延伸します。しかし少し視野を広げてみると、中央道の双葉JCT（ジャンクション）から新清水JCTまでの区間は、平成31年度に全線開通するのです。つまり、日本列島の中央部において日本海沿岸地域と太平洋沿岸地域を直結する



高速道路「中部日本横断道路」（上信越自動車道及び中部横断自動車道、新東名高速道路の清水連絡路により構成される）上越JCT－新清水JCT間約284kmのうち、開通していないのは八千穂高原IC－長坂JCT（仮称）の約34kmを残すのみとなっています。

この約34kmについては基本計画のままであり、整備計画にも格上げされていない実態は、他の路線と比較し約20年遅れてしまったと言えます。

全線開通がされた場合、物流コストが著しく削減できます。

佐久IC－横浜港【¥9,410】 佐久IC－清水港【約¥4,300】

清水港は、港湾整備が進み10年前の24倍の輸出入能力を持ち

ました。その清水港と連携することは、佐久の可能性を高めていくことになるのです。このコストダウンは、物流だけではなく、人の動き、観光、企業進出にも大きな影響を与え、佐久の可能性は今以上にはるかに大きくなります。

しかし、大きな課題があります。それは八千穂高原IC－長坂JCT間（仮称）は、無料（新直轄方式での建設）となるかどうかは、全く白紙のままなのです。

通常的高速道路は、借金で道路を建設し完成後料金を徴収し、その借金を返済していきます。一方、新直轄方式は建設費用の1/4を長野県が、3/4を国が負担します。

この課題は、これまであまり触れられることはありませんでした。しかし、佐久…否、佐久ばかりではなく上小地域も長野市を含む北信においても100年に一度の分岐点に差し掛かっているのです。

（課題整理）

①20年遅れてしまった八千穂高原IC－長坂JCT（仮称）の道路建設

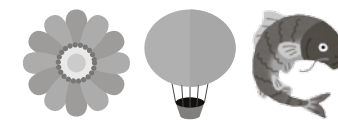
②八千穂高原IC－長坂JCT（仮称）を無料（新直轄方式）と決定していない。

（今後の方針）

八千穂高原IC－長坂JCT（仮称）が新直轄方式で行う有効性を、上小地域や長野を含む北信地域全体、知事や県庁全体が十分理解し、県民運動として政党・国土交通省・財務省に対して、無料による整備が1日も早く進むよう要請・要求を行っていかなくてはなりません。

私は、阿部知事とともにこの運動の先頭に立ちます。

6 新直轄方式だから行う 「道の駅・ヘルシーテラス佐久南」



新直轄方式だから行う「道の駅・ヘルシーテラス佐久南」②

大きな可能性を秘め、高速道路としての機能も果たす「道の駅・ヘルシーテラス佐久南」。

新直轄方式で佐久小諸JCT（ジャンクション）から八千穂高原IC（22.4km）までは整備がなされました。残りの長坂JCT（仮称）までを新直轄方式で整備することが大きな課題であると前述しました。

歓迎すべき整備方法なのですが、建設コスト削減のメニューが具体化されました。そのことにより新直轄方式では、SA（サービスエリア）・PA（パーキングエリア）は設置されません。

佐久小諸JCT～長坂JCT（仮称）間約57kmには、SA・PAが設置されないということになります。つまり、この区間では食事やトイレ、買い物、給油が出来ないことになってしまいます

これでは、あまりにも高速道路としての機能を果たせないことから、佐久市では佐久南IC出入口に『道の駅・ヘルシーテラス佐久南』を建設することとしました。佐久南ICを選択した理由は、この約57km区間で最も交通量が多い地点が佐久南IC前だからです。国道142号の1日の交通量は18,200台（H25調査）。そこに中部横断自動車道からの流入予測交通量は14,300台（H42推計）と推計されております。

この場所に道の駅を建設すると周辺SAとは以下の距離関係になります。

佐久南～横川SA 40km

佐久南～東部湯の丸SA 25km

佐久南～八ヶ岳PA 52km

佐久南～双葉SA 72km

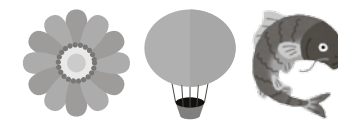
他のSAと競合することではなく、大きな可能性を持ち、今年の7月にオープン予定となります。この道の駅は、地方創生の核となる、特に優れた取組みを行う道の駅を重点的に支援するために国が指定する「重点道の駅」に選定されています（H28.1.27）。

野菜の直売所も朝採りは朝、昼間採れたものは昼に販売するというスタイルで、産地だからこそできる魅力ある販売方法だと思います。

またレストランも設置しますので、岸野、桜井はもちろん、無料の高速道路を利用すればインターチェンジのある中佐都方面、切原・臼田方面の皆様にもご利用頂けると思います。



7 高い評価 佐久の米・佐久の酒・ 佐久の鮒



高い評価 佐久の米・佐久の酒・佐久の鮒②

高い評価を得ている「佐久のブランド」。

昨年、名古屋に視察に行きました。「佐久の米が名古屋で評判になっている」という話をお聞きしていたからです。

スーパーマーケット「アピタ」。資本はユニーで、名古屋を中心にアピタやピアゴなど215店舗あります。

販売価格は、¥2,180／5kg

1俵（60kg）に換算すると、¥26,160（税込価格¥28,248）

一般のコシヒカリの販売価格が通常¥1,700／5kg前後ですから、いかに市場で大きな評価を得ているかがわかります。この米は、野沢・望月・立科で作られている特別栽培米です。特別栽培米とは、化学肥料と農薬の使用を50％以下に^{とど}留めた米です。

消費者の「安心できる、美味しい米を食べたい！」という志向は、今後強まっていくことから、この佐久の米の取り組みを支援していくべきなのです。そして、農家の実収入増に^{つな}繋げていかなくてはなりません。

日本酒と言えば「佐久」。

佐久の酒は、11蔵。人口比でこんなにも酒造りが盛んな場所は珍しく、後継者が^{いず}何れも若く、取り組みに勢いがあります。

佐久の酒

○千曲錦酒造(株) ○合名会社戸塚酒造店

○(株)古屋酒造店 ○武重本家酒造(株)

○大澤酒造(株) ○(株)土屋酒造店

○芙蓉酒造(株) ○伴野酒造(株)

○木内醸造(株) ○橘倉酒造(株)

○佐久の花酒造(株)

どちらの酒蔵も、佐久の特徴を生かした評価の高い酒を造り出しています。

この特徴を生かし、佐久市議会では佐久市清酒の普及の促進に関する条例を制定。今年のJRの信州DC（信州デスティネーションキャンペーン）でも大きく打ち出していきます。

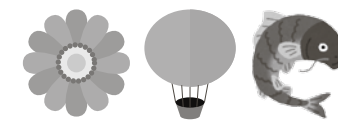
今後は、日本酒と言えば「佐久」という佐久市の特色の発信を、小諸市や佐久穂町と連携し地域一体で推進していきます。

佐久の鮒づくりを大事にしていきます。

佐久の^{ふな}鮒は文化的食物ですが、現状は生産量が不足しています。欲しくても手に入らない状況なのです。扱っているスーパーでは1シーズン2回の売り出しを行っても、行列ができて、お昼までに完売してしまいます。

ご家庭ごとに^{ふな}鮒を煮る風情は、絶対に残さなくてはなりません。農協とも連携しながら、新たな生産者育成を行い佐久市が水田^{ふな}鮒の生産拡大を支援します。

8 軽井沢スキーバス大事故で 発揮した“佐久のチカラ”



軽井沢スキーバス大事故で発揮した“佐久のチカラ” ②

佐久の充実した救急医療が「安心安全な街づくり」に貢献しています。

平成28年1月15日。

東京から斑尾高原に向かうスキーバス。乗員・乗客41名。軽井沢碓氷バイパスで大事故が発生しました。

氷点下の森の中。寝ている状態での深夜の事故。真っ暗闇の中。乗客の数名がスマートフォンで「119」を打つ。

佐久広域連合消防本部が覚知した時間は、02：04。

状況を確認しながらの出動命令。軽井沢消防署から出動した救急隊が現場に到着した時刻は、02：14でした。

わずか10分で救急活動がスタートしました。大事故により高崎市等広域消防局の協力を得て、トリアージ（救命の順序）を行いながら人が人を病院へ搬送。

◎佐久医療センター ◎浅間総合病院 ◎小諸厚生総合病院

◎金沢病院 ◎くろさわ病院 ◎軽井沢病院

その他群馬県の3病院によって対応。

この大事故対応のキーポイントは2つです。

①消防本部が発信者の場所の特定を瞬時に行うことが出来たこと。

②医療機関の救急受け入れ態勢が整っていたこと。

1つ目は、スマートフォンのGPS機能を受信する能力を佐久広域連合消防本部が備えていたことによります。この能力は、約30mの誤差でその位置を特定します。佐久広域消防本部は、平

成27年春に整えました。

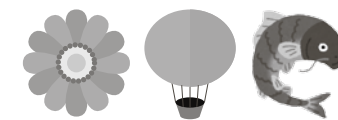
2つ目は、佐久医療センターの充実や浅間総合病院の整備が進んだことに加えて、地域完結型医療を目指す中で、各医療機関の医師と医療技術者、関係者が強い使命感を持っていたことにあります。

佐久地域の医療の充実は、ハード面だけでなく、医療関係者の意識の高さというソフト面にこそ強みがあり、その質が高まっていることを、この事故は図らずも示すことになりました。

この2つのキーポイントには多額の税金が投入されています。佐久地域は、この3年間で安心安全の街づくりが大きく進みました。そこには、議会の皆様、住民の皆様のご理解によるものであり、ここに改めて感謝申し上げます。

大変残念ながら15名の尊い命が失われましたが、最小限にとどめたとと言えるかと思います。

9 長野県立武道館の可能性と期待



長野県立武道館の可能性と期待②

長野県立武道館は、幅広い活用が期待されています。

この大事業が佐久市において行われることに、誘致に携わった全ての関係者に感謝申し上げます。

平成23年度から佐久市内の武道関係者の皆様とともに取り組み、県知事に正式に佐久市が県立武道館誘致の意思表示をしたのは平成25年。それぞれの団体の県内関係者への説明とお願いを重ねて頂きました。県や団体からの情報収集に小池副市長をはじめ職員も^{とうほんせいそう}東奔西走。このロビー活動が功を奏し決定しました。

「阿部知事さん、佐久市にも武道館建設の計画があります。長野県に二つの武道館を創るより、協力して一つ立派な武道館を建てましょう！」

その提案に知事が応えてくれたのです。

主道場が柔剣道に当てはめると6面、常設柔道場3面、常設剣道場3面、主道場の固定席1,500席程度。

県のプロポーザル審査委員会で(株)環境デザイン研究所（広島市民球場や公立大学法人国際教養大学図書館など話題の建物を設計した会社）と(株)宮本忠長建築設計事務所が共同で設計を行うことになりました。

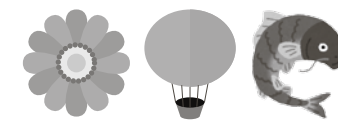
この武道館は、武道に留まらず、他のスポーツや文化活動や式典など様々な使い方が期待されています。コンサート等にも使えるようになり、アリーナを使えば東信地区で最大級の人員の収容が可能となり、長野県を代表する屋内施設の一つとなります。

そして完成は、平成31年度（2019年度）。東京オリンピック・パラリンピック開催の前年度です。今後、佐久市では東京オリンピック・パラリンピックでの事前合宿誘致の姿勢を強めて参りますが、その舞台となり得るのが、この新たに建設される県立武道館と佐久総合運動公園陸上競技場です。

長野県は、1998年に冬季オリンピックを経験しました。その時の長野市の華やいだ雰囲気は、オリンピックでしか味わえないものだったと思います。世界中の人々が訪れ、歓迎する日本人がいて、その気持ちを深く理解して、アスリート人生を表現するドラマがそこで繰り広げられるのです。参加国、参加選手の多い夏季オリンピックとなればなおさらのことだと思います。佐久市民が世界の祭典に関わりを持ち心揺さぶられる感動を手にするよう、私は市長として努めたいと思います。



10 佐久市長就任時に迫られたこと ～公設民営・春日溪谷・岩村田小学校改築～



佐久市長就任時に迫られたこと～公設民営・春日溪谷・岩村田小学校改築～②

市長の資質において、地域の事情を熟知している事は大事な要素です。

平成21年の春。私は佐久市長に就任しました。私が掲げた主な公約は3つ。

- ①佐久総合病院再構築全面支援
- ②総合文化会館建設の慎重な検討
- ③徹底した情報公開による市民参加型市政の実現

その他に報道関係からのアンケートもあり、候補者としての発言は、すべて公約…市民との約束となります。

しかし、行政の行う事務事業は700にも及ぶことから、新市長によって方向を変えるべき事業や継続すべき姿勢、あるいはすぐさま決定すべき案件があります。

方向転換を迫られたのは、介護施設の公設民営化です。それまで、シルバーランドみつい・きしの・結の家などの介護施設について公設民営という手法を選択してきました。「民間が体力も意欲も強めていることから、行政が施設を設置し、民間により運営する公設民営から、民間による施設設置への支援に移行したい」という行政の姿勢の転換を迫られ、私はそれを了承しました。

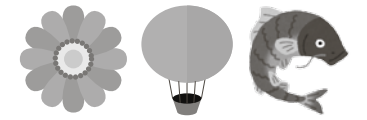
継続を求められたのは、春日溪谷の道路復旧です。素晴らしい景色で望月が誇る観光資源です。しかし大きな課題もあります。林道鹿曲川線^{かくま}を通行止めになっているが、通行止め区間には危険箇所があり、一般車両の安全を確保するためには、道路安全確保等

の工事が必要であり、通行止め解除を行うには、約30億円の費用負担が発生する。しかし残念ながら、「市民要望があっても利益や権利、願望に流されることなく正確に対応して欲しい」と通行止め継続を求められ、私は了承しました。

決定を迫られたのは、岩村田小学校の改築の是非です。地域公約の中で私は、北部小学校（現在の「佐久平浅間小学校」）新設を主張していました。しかし、「分離新設した場合、岩村田小学校をリフォームに^{とど}留めるのか全面改築にするのかを決めて下さい！」という声がありました。^{おおむ}概ね小学校の全面改築は50億円です。基金の状況、他の小中学校の老朽化や住民意識、職員配置など情報を一気に集め^{そくだん}即断しなければなりません。その中で、いくつか残された課題もありましたが、全面改築を決定しました。その決断に際しては、地域に暮らし、人間関係を知り、地域事情を^{じゅくち}熟知していなければ正確に判断することができません。これが選挙で重視される政治・行政の経験の有無なのです。

市長職において地域を知っていることは、欠くことの出来ない重要な^{ししつ}資質です。

11 安心を求めて『人は動く』



安心を求めて『人は動く』②

佐久市の「安心できる環境づくり」をなお一層進めていきます。

市長として出来るだけ多くの皆様と意見を交わすことを心がけています。平成28年夏、「田舎暮らしの本」を出版する宝島社を訪問し編集長と意見交換しました。その際、「田舎暮らしを推奨している自治体の中で、東日本の雄は佐久市ですね。そして、西日本の雄は大分県豊後高田市です」との言葉に触発され、視察をすることにしました。

豊後高田市は、人口2万3千人。人口を他地域からの流入による社会増に転じさせようと懸命な努力をしています。永松市長と会談しました。

「豊後高田は、仕事を選ばなければ夫婦共働きで二人の子どもを大学まで通わせることができる。そのために、子どもを預かる場所や子育てに関する心配を取り除く市役所になろうとしています」とお聞きしました。

街に出て、大阪から移住した二つの家族を訪問しました。私の関心事は、便利な都会を離れ豊後高田に移住した理由。つまり、便利さよりも優先した価値が何であるか…でした。

答えは「安心」でした。

自分を迎えてくれる街全体が醸す歓迎の空気。そして、行政が整える安心して子育てができる環境だったのです。

佐久市の卓越性は、医療福祉の充実、天災の少なさなどです。これらは、間違いなく安心感を提供しています。しかし、この安心

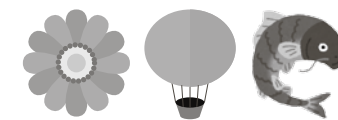
感はどちらかと言うと高めの年齢層への安心感なのだと気付かされました。

佐久市が若い方にも選ばれる街になっていくためには、若い方への安心感を提供できる方法を選択しなければなりません。一方で、佐久市が子育て支援について不足をしているかという点、そんなことはありません。37名の保健師を中心に切れ目のないサポートを行い、心血を注いで安心感を創り出しています。

今後、佐久市が行うべきは、安心を感じられる丁寧な情報提供と一歩進めた子育て世代への経済的支援や働く場所づくり、女性の起業への新たな支援などが考えられます。

キーワードは「安心できる環境」です。人は、安心を求めて行動するのです。安心のある場所を佐久市に創ることを今後、強力に押し進めていきます。

12 アジアにおける佐久市の役割



アジアにおける佐久市の役割②

佐久市は「保険・医療のつばさ事業」を推進しています。

佐久市の卓越性とは何か…市長として常に考えています。

ある時、浅間総合病院の村島院長先生が「日本の高齢化率も上昇していきませんが、アジア諸国も上昇し、そのスピードは日本よりも早いのです」と、ある資料を見せてくださいました。

驚きと同時に頭の整理も出来ました。昨今、アジア諸国からの佐久市への視察が増えていることを感じていたからです。この現象は、浅間総合病院や佐久総合病院、佐久大学も同じでした。

アジアの皆さんからすると日本の高齢化社会は、「いつか行く道」なのです。医療保険も薄く介護保険のない国々において、高齢化社会に対応する術は、保健なのです。健康であり続けることにより、社会的コストを抑制させるのです。

長寿日本一の長野県。そして、その中でも際立つ佐久地方の保健活動は、極めて高い卓越性と言えます。

佐久市は、アジアの高齢化に向けた対応への優れたアドバイザーとして、多くの視察を積極的に受け入れる「道先案内人」の役割を担おうとしています。

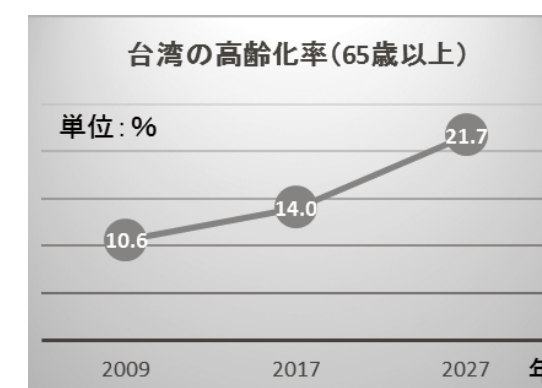
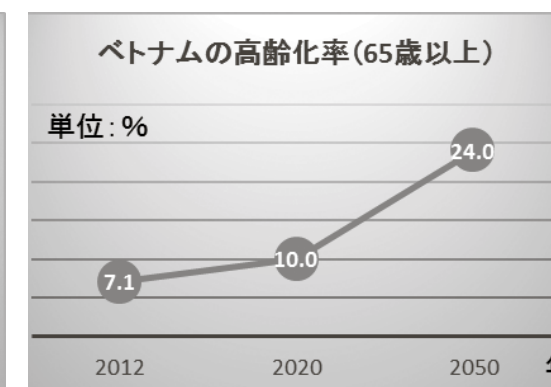
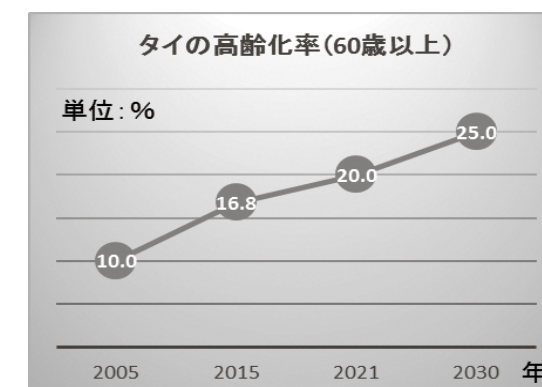
そのため、アジアの実態を知り、その上で、適切なアドバイスなどを行うための連携や視察受け入れ体制を整えることとしました。

平成26年トヨタ財団支援の実態調査。平成27年からはJICA支援で佐久市、佐久大学とタイ王国サンスク町、ブラパ大学との連

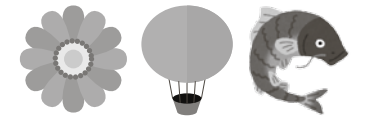
携協力を進めています。また、平成28年からはタイ語と中国語の専門的通訳養成を行っています。

これらを総称し『保健・医療のつばさ事業』としていますが、安倍政権の推し進める地方創生事業の一つになっています。この「つばさ事業」をアジアにおけるSAKUの役割としていくのです。

私がこだわるのは、通訳の質を高めることです。例えば介護保険がない国に日本の介護制度や日本の財政の大きな特徴である地方交付税交付金制度を説明することは、至難の業です。しかし、それらを兼ね備えたならば、佐久市の卓越性はさらに高まるのです。



13佐久の水を守る運動を全国展開に



佐久の水を守る運動を全国展開に。②

佐久市が中心となり広域で、大事な水資源を守っていきます。

平成22年長野県市長会講演会の講師は猪瀬東京都副知事（当時）でしたが、「中国の日本買いが盛んになってきていますよ」と話されました。

しばらくすると、佐久市の地下水を活用してコーヒーの濃縮工場を建設し中国に輸出したい…必要な土地は、30万坪という話が舞い込みました。必要としている土地が過大な奇妙な話。これが中国の日本買いなのか、という疑念を持ちました。

佐久広域連合正副連合長会議で話題にすると、小海町や南牧村へも土地購入の問い合わせがあり、軽井沢に至っては既に3ha外国資本によって買収されたことがわかりました。

何かが動いている…調査を進めていくと民法における財産権の考え方に課題があることがわかってきました。

「土地の所有は、上空にも地下にも及ぶ」

地中から出てきた石炭もダイヤも宝物も…そして水も。しかし、水は地下で繋がっていて、大量に取水した場合、周辺に大きな影響を及ぼすことも考えられるのです。

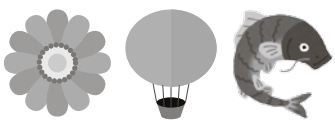
今やミネラルウォーターは、ガソリンよりも高価な時代。日本の安価な山を購入し、大量に取水し海外で販売を行うことがビジネスモデルとして成立すれば、危険な話です。これは、外国資本の可能性もありますが、国内の企業や個人が行っても問題があります。なぜならば、地下水は地域住民共有の財産なのですから。

私は、佐久広域でこの問題に取り組むこととし、呼び掛けました。それは、佐久市だけで取水規制を行っても水源の7割以上は佐久穂町にあり、広域で取り組まなければ効果が発揮出来ないからです。結果、東御市も加わり12市町村で取水規制を行う条例が施行されました。

このような実態は、佐久地域だけでなく日本中で発生する可能性がありますので、本来であれば国において取り組むべき政治課題です。

しかし、国内には水ビジネスを主産業にしている地域もあり、法律での取水規制は出来ないと思います。この民法の考え方は、明治29年に制定されて以降、改正がされていません。その時代には、大量な取水技術もなく、水が国境を越えることなど想定する必要のない時代だったのです。しかし、時代はグローバル化が進みます。国が時代対応できないならば、市町村が独自の発想で動かなくてはならないのです。そこで私は、『水資源保全全国自治体連絡会』を立ち上げ、会長に就任しました。佐久市長として見えてきた日本の課題にも積極果敢に立ち向かう政治家でありたいと思います。

14佐久市財政の健全性



佐久市財政の健全性②

佐久市の財政は、健全そのものです。

地方自治体の財政状況を見るうえで「財政健全化の4指標」があります。平成27年度決算の4指標について長野県内における佐久市の順位をご報告します。

- ①実質赤字比率…………… 19市中 1位（赤字なし）
- ②連結実質赤字比率… 19市中 1位（赤字なし）
- ③実質公債費率…………… 19市中 1位（0.1%）
- ④将来負担比率…………… 19市中 1位（数値なし）

また、先ごろ財務省による、佐久市の平成26年度財政状況把握の結果が出されました。

診断表の概要

平成26年度地方財政状況調査表等を基に行政キャッシュフロー計算書を作成し、財務上の問題点を分析した結果の概要は以下のとおり。

1.現状

○債務償還能力について

実質債務月収倍率が基準を下回っていることから償還すべき債務の水準に問題がなく、また、行政経常収支率が基準を上回っていることから償還原資の獲得状況に問題がない。よって債務償還能力について留意すべき状況にはないと考えられる。

○資金繰り状況について

積立金等月収倍率が基準を上回っていることから資金繰りバッファの水準に問題がなく、また、行政経常収支率が基準を上回っていることから経常的な資金繰りに問題がない。よって債務償還能力について留意すべき状況にはないと考えられる。

財務指標及び財務上の問題

区 分	平成26年度	計画最終年度(32)	単独基準	複合基準
債務償還可能年数	1.9年	3.2年		15年
実質債務月収倍率	4.9月	6.5月	24月	18月
積立金等月収倍率	11.4月	7.8月	1月	3月
行政経常収支率	21.1%	16.9%	0%	10%
債務系統	○	○		
積立系統	○	○		
収支系統	○	○		

(26年度末)

財政融資資金貸付残高	39,674 百万円
うち普通会計分	24,421 百万円
うち公営企業分	15,253 百万円
普通会計地方債残高	47,550 百万円

2.今後の見通し

○債務償還能力について(長期的視点)

計画では、実質債務月収倍率が低いことから、償還すべき債務の水準に問題はなく、また、行政経常収支率が高いことから、償還原資の獲得状況に問題ないと考えられるため、債務償還能力に留意すべき状況にはないと考えられる。

○資金繰り状況について(短期的視点)

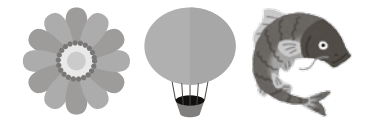
計画では、積立金等月収倍率が高いことから、資金繰り余力としての積立金等の水準に問題はなく、また、行政経常収支率が高いことから、資金繰り余力としての積立金等の水準に問題はなく、また、行政経常収支率が高いことから、経常的な資金繰りに問題はないと考えられるため、資金繰り状況に留意すべき状況にはないと考えられる。

この財務省の診断で明確になったことは、「債務償還能力と資金繰り状況について留意すべき状況にはない」ということでした。

佐久市の財政規律は非常に高いものです。

計画的に繰り上げ償還を行い、財源もなるべく一般財源を使うのではなく国庫補助、交付税措置のより高い、有利な市債を選択するなど不断の努力によってなされたものです。今後、人口減少社会での不測の事態にも備え、財政健全化を堅持して参ります。

15 シティープロモーションという考え方



シティープロモーションという考え方②

地域の魅力をさまざまの目で発見

人が物を買う行為は、二つのハードルを越えています。

一つは「買いたい」、もう一つは「買える」です。

真っ赤なコートを買いたくても奥さんの同意が得られない状況は、買いたいハードルは越えていますが、買える環境が整っていません。

佐久市の天災の少なさへの魅力を感じ、奥さんと二人で空き家を購入し移住したケースは、住みたいというハードルを飛び越え、住める環境が整っています。

佐久市の移住を例に引きましたが、これを観光に置き換えてもインバウンドに置き換えても、必要なことは、『認知』です。佐久市が選ばれる街になるためには、認知度を上げていく方法が必要です。

- ・パブリシティ
- ・行政視察観光
- ・効果的な情報発信

パブリシティとは、取材対象となり報道への露出度を上げていく方法です。費用を用いなくて佐久市を多くの皆さんに知って頂く方法です。単にニュースや新聞だけでなく、番組制作への協力、ネット上でも話題提供や、ブロガーへの情報提供も考えられます。

また、佐久市出身や佐久市にゆかりのある方で発信力の高い方

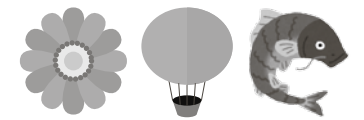
との連携なども有効な手段です。

行政視察観光とは、47都道府県、1741市区町村、広域連合等の視察によるもので、これは一つの大きなマーケットです。議員や議会事務局へのアプローチを複数の自治体と連携し視察をサポートすることも認知度を上げていく方法です。当然そこには、事業の卓越性が不可欠で、それを発掘する人材も育成していく必要がありますが、可能性の高い分野です。

発掘能力や発信能力を高めることで、これまであまり世に出なかった新たな観光的要素を見出すことも可能になります。

佐久市はシティープロモーションにより、選ばれる街となるための新たなセクションを設置します。

16 その人の大切なものを大切にする



その人の大切なものを大切にする②

人々の「思い」を大切にする市長でありたいと思います。

少し前から私の心の中に芽生えた言葉です。人にはそれぞれ違った経験がありますので、自ずと考え方や判断、嗜好も異なります。

71年前、日本は太平洋戦争の終戦を迎えました。今の佐久市にあたるエリアの戦没者は、2769柱に上ります。国家、故郷、家族のために自らを盾として戦禍に散った方々です。その英霊を慰めるため、佐久市では毎年戦没者追悼式を行っています。

戦争未亡人となった女性や父を亡くした子供たちも高齢者になっています。遺族の皆さんにとっては、今なお、悲しみの中にあり、亡き最愛の方との関係は何にも勝る大切なものなのだと思います。そんな思いを及ばぬとは言え理解しようと追悼式に臨んでいます。

佐久市は今、小中学校の整備を集中的に行い、その終盤に差し掛かっています。

整備を進める中、泉小学校の改築が始まろうとしていた時のことです、「〇〇学校のような改築だけはしないで欲しい」と懇願されました。現在、佐久市が進める校舎改築は、望ましい教育環境、財政状況、将来見通しなどを総合的に判断して行っており、必要なことだと考えます。しかし、その方の真意は、「校舎を新たに建設することは望んでいる。しかし、思い出は、どうするか…校舎がなくなり思い出を刻めるのは大木や碑など限られたも

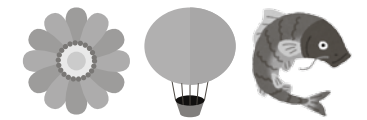
のなのに…それすらも工事の都合で奪われてしまった学校は悲しすぎる」ということだったのでしょう。

以来、卒業生や親、先生にとって思い出を刻んでいる大切なものをできる限り残すよう努めています。泉小学校の片隅には開校当時からある「泉小学校」の命名の由来にもなった井戸を保存することとしました。

人には誰しも、大切なことやものや時があります。それらとともに大切にしていける社会を私は望んでいます。大人から見れば首を傾げてしまうようなことでも、子どもにとっては大切なものがあります。大人として親として、その大切なものを一緒に大切にしていきたいと思います。そして、その理解から生み出される新たな大切な関係があると思っています。

市長としても親としても『その人の大切なものを大切にする』存在でありたいと思います。

17 女性起業家・新規就農



女性起業家・新規就農～佐久市が、皆が活躍できる場であるために～②

佐久市が、皆が活躍できる場であるために。

「千と千尋^{せん ちひろ}の神隠し」に出てくる湯婆婆^{ゆばーば}は「働きたい者には、仕事をやる」という誓いを立て、千尋^{せん ちひろ}が仕事をしたいという懇願^{こんがん}を受け入れて物語が始まります。

「いつの頃からか、彼らは、労働^{そんげん}の尊厳と称すべきものを発見しました。つまり、人間は、何もしないでいるときよりも、働いて何かを作っているときの方が幸せだということを発見したのです」この言葉は昭和26年、GHQのマッカーサー元帥が米国議会上院軍事外交委員会で日本人について説明した証言の一部です。

人は働き、自分自身を表現し、期待され期待に応えることを求めているのです。子育てをしながら起業を志す女性、或いは子育てが落ち着き起業したいという女性の皆さんとお話をしていると、働くことを渴望^{かつぼう}しているその姿に感動します。アイデアを重ね自分が地域の中でしっかりと役割を果たす覚悟を持って発言しています。

私は、この闊達^{かつたつ}なエネルギーが佐久の貴重な素材であると確信しています。

また、ライフプランを書き換えて新規就農し、自然と共生していこうとする若い方が増えています。有機農法の方もそうでない方もいます。遊休^{こうはい}荒廃農地が拡大する一方、受け皿になるであろう方が大きな意欲を持っています。

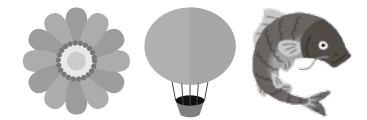
若手農業者の集まりである「佐久市耕友会」で知り合った女性

に心を打たれました。高校3年生でお父さんを亡くし、それまで就職を考えていた彼女が農家になる事を決意したのです。手伝っていたお父さんの仕事を見よう見まねで始め、近所のおじさんたちにも教わりながら取り組み、今や立派な専業農家です。

23歳の彼女は、トラクターに乗り7ヘクタールの水田でコメとソバを育て、ハウス3棟でパプリカを栽培。お母さんと二人で耕作しています。農作業中は日に焼けないように完全防備ですが、素に戻れば茶髪でカラフルな爪の持ち主の普通のお嬢さんです。彼女の活躍の場はそこにあり、夢も現実的プログラムもあります。

働く意欲は、地域の掛け替えのないエネルギーの源です。このエネルギーの活用を、佐久市の柱に加えて参ります。

18 成熟した社会を目指して ～未来から今を見る視点～



成熟した社会を目指して～未来から今を見る視点～②

20年、30年前と今の社会を見比べてみると随分と社会は変化するものだと感じます。

例えば、スパイクタイヤです。今から30年近く前は、スタッドレスタイヤではなく、スパイクタイヤを誰もが使用していました。当時、佐久の寒さの中で積もった雪は、今ほど丁寧に除雪はせず圧雪されていました。その状況でスパイクタイヤを使用することが一般的な姿でした。しかし、春先になるとスパイクタイヤが道路を削り粉じん公害となり社会問題になっていました。そういった事態を解決するためスパイクタイヤは禁止（平成2年6月施行）され、スタッドレスタイヤが日常的に利用され、除雪も丁寧に行われるようになりました。スパイクタイヤを原因とする粉じん公害もなくなりました。

もう一つの例は、喫煙についてです。かつては、小海線の中でも信越線の中でも煙草が吸われていました。昭和末期の衆議院予算委員会でも閣僚が煙草を吸う姿がありました。会議もテーブルには灰皿が置かれていました。しかし、時代は変わり、今や不特定多数の人が利用される場所では、喫煙は出来ない社会になりました。

つまり、その当時は社会的に一般的な行動であっても時間が経つにつれて変化していくことがあります。私は、それが成熟した社会への歩みだと思うのです。

私は、今、自動車の速度に注目しています。住宅地内にある生

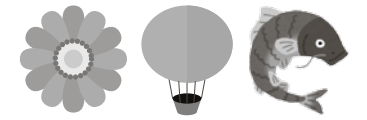
活道路の事をイメージして下さい。今の社会では、30kmくらいで走る車も少なくありません。私は、こういった道路に関しては、時速15km程度で走行する社会が望ましいと思っています。

実際に走ってみましょう。子どもやお年寄りも使う道路を時速15kmで走行すると相当なアクシデントも回避できるスピードになります。移動には少し時間が掛かることにはなりますが、例えば朝の忙しい時間でも少し早起きすれば何の問題もなくなります。つまり、佐久市民一人一人の心がけによって安全安心な街づくりが進み成熟社会の一面の創造となります。

そして、20年も経過すると生活道路を時速30kmで走行する車がなくなり、誰もが“安心だ”と感じる社会にしていくことをイメージしています。

政治は、少し先を見て成熟した社会を目指して「今を改革し、より良い社会に導く役割」を担っているのです。

19行政は市民のために存在する



行政は市民のために存在する②

住民の意見を十分に補え、正確な情報発信。

私は、住民投票論者です。

住民（国民）が個別具体的な判断を直接行うことも、主権者としての務めであると考えからです。地方自治法第94条では、都道府県や市、東京23区のような特別区には議会を置く義務がありますが、町村には議会を置かずに、住民会議を開催することが出来るとしています。その場合、主権者が直接全ての決定を行うことが出来るのです。

私は、この条文を以下のように理解しています。

「本来、自治は主権者である住民によって決定されるべきものでありながら、自治体が大きくなり、住民が一堂に会することが出来ない時に、代議員制を取る。そして、代議員で構成される議会は、住民の意志とみなす」

議会制度は極めて重要なシステムです。一方、自治体にとって大きな影響があり、様々な意見が交錯しているような場面や理事者と議会において大きな意見の食い違いが発生した時に、住民投票という選択をするべきだと私は思っています。

住民投票は、極めて重要な選択ですが、どの課題を住民投票に掛けていくべきかは、透明化の図られた場所において十分に議論されるべきだと思います。

私は行政は住民のために存在すると考えています。名実ともに住民のためとなるには、住民の意見を十分に正確に捕らえなけれ

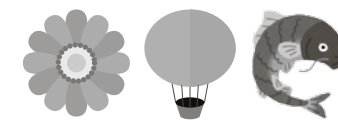
ばなりません。

経済が大きくなり財政規模が大きくなる時代は、「正の分配」と言えるでしょう。しかし今後、人口減少が進んでいくと「負の分担」の時代が訪れます。負担の大きな社会においては、主権者である住民に十分な情報が提供された上で、理解して頂くことが、今まで以上に必要になります。

自治体によっては、常設型住民投票条例を設置していますが、それは、一つの方法論として住民投票を明確化したものです。私は、大切な政策選択においては、恒常的に住民の意見を推し量る方法をシステム化すべきであると考えています。

重要政策の場合、かつて佐久市が行った住民投票のように説明会や討論会などを公正に開催し、住民が政策選択を行い得るシステムを導入していくことが、これからの時代は必要になると考えています。

20 感激のある教育現場



感激のある教育現場②

幸福のサイクルを実現できることを目指して。

「愛されること」 「褒められること」

「期待すること」 「期待に応えること」

これを私は、幸福のサイクルとして、各種計画における施策の立案や基本姿勢の考え方に盛り込みました。市民一人一人が、この幸福のサイクルを実現できることを目指しています。

私が永田町で代議士秘書を務めていた時、バブル経済絶頂を迎え、そして崩壊しました。以降、「物の豊かさから心の豊かさの時代へ」と提案され続けました。しかし、その転換が図られたとは言えなかったと思います。時代は進み、約20年が経過し、日本が人口減少社会になり、3.11東日本大震災と大津波を経験し、経済的な豊かさとは別に、人と人との繋がり「絆」を求める時代に突入したことを確信しています。天災の恐ろしさを目の当たりにし、自分たちの手には負えない放射能に怯え、生活の中で感じる高齢化と人口減少…この状況は、人を心細くさせました。この心細さは、経済的豊かさでは解決出来ないのです。その不安は、人と人との関わりによって前向きに展開すると私は思います。この時代を「震災後」と私は表現しています。

この時代の教育に目を向ける時、幸福のサイクルの実践を試みていきたいと思うのです。幸福のサイクルを3つのテーマに向けてアプローチしていくことを考えています。

①学力向上 ②食育 ③体育 の三テーマです。

学力向上や食育、体育の実践において義務感からでなく、また指示

命令によってでもなく愛されることや期待されることから、意欲や動機が生まれる状態が大事だと考えます。そしてその過程や一つの結果において「期待に応えた」と感じ、「褒められる（評価される）」サイクルを創っていきたいと思います。

今、市内全域に広がった学校給食応援団などはその実践の一つです。農作物を育ててくれる地域の農家さん、献立を作ってくれる栄養士さん、その日の給食を作ってくれる調理員さん。これらの皆さんの思いは、児童生徒への愛情や期待なのだと思います。その期待に応えようとする子供たちの姿には、心の豊かさの表れをみることができます。今後においては、その普及拡大を目指していかなくてはなりません。

体育からのアプローチのひとつとして、市内全中学校陸上競技大会の実施を考えています。現在、市内中学校の全生徒数は、佐久長聖中学校も含め3,089人です。

この生徒数は、総合運動公園陸上競技場に収容できるものです。このことから陸上競技大会を開催することを検討していこうと思います。期待され、期待に応える場づくり。そして、その頑張りや達成感を同級生、先輩後輩と分かち合う大会にしたいと思います。この大会を通じて学校づくり、学級づくり、思い出づくりに資することができるものと考えています。大会運営は先生方に依存しないことが良いと思います。

3,000人を超える観衆の中で様々な感激を味わえる空間を創り出したいと思うのです。